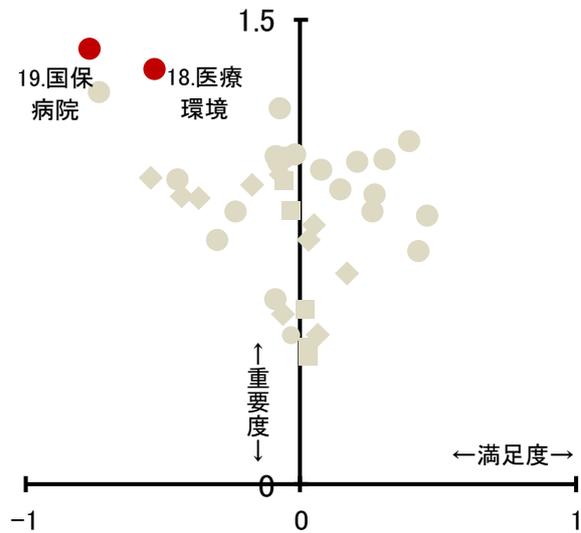


## 21 医療

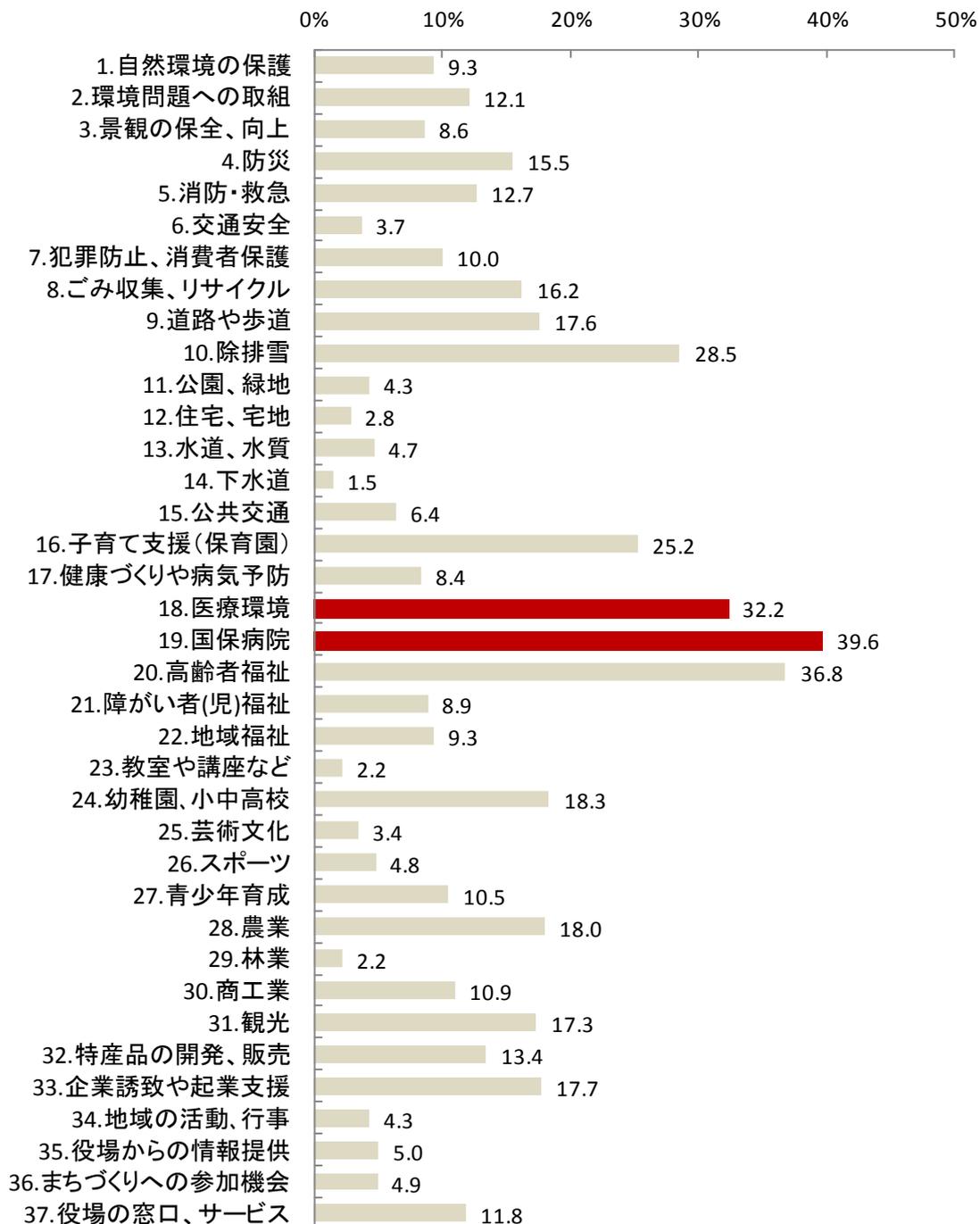
### (1) 関連グラフなど

**【問2】暮らしの満足度・重要度**  
 満足度をヨコ軸、重要度をタテ軸にした場合の位置づけです。

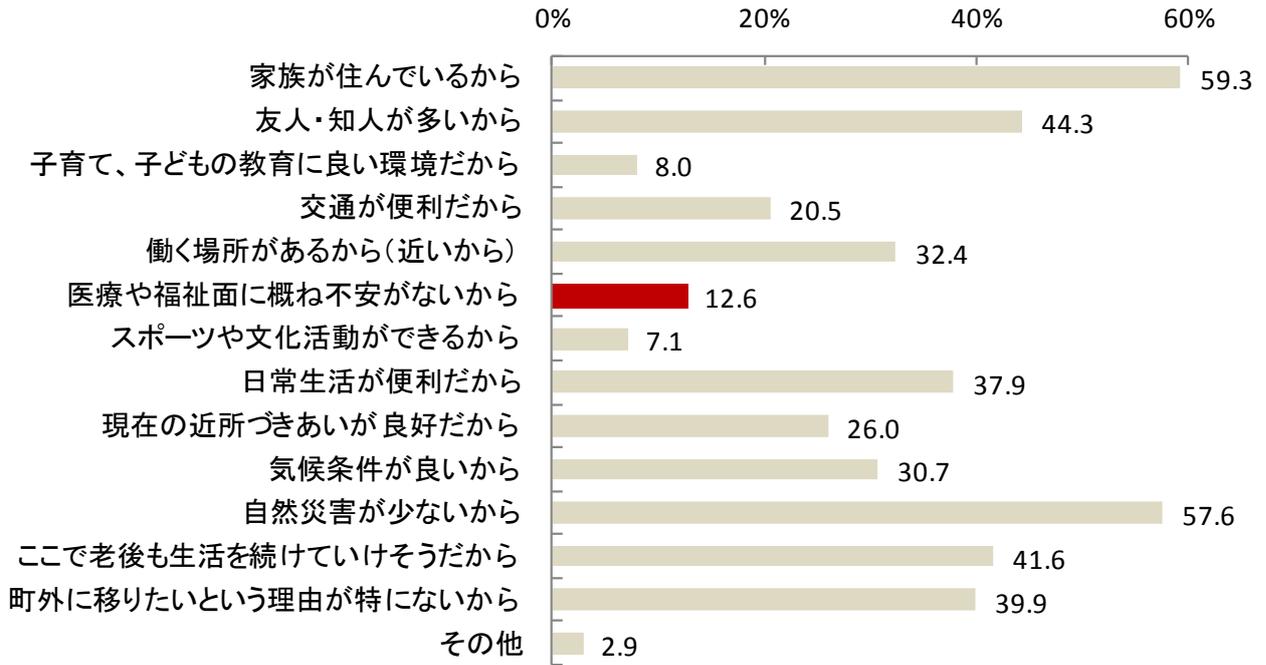
**【問3】特に重要なもの**  
 問2と同じ37項目の中から、特に重要と思う項目を5つ選んでもらった位置づけです。



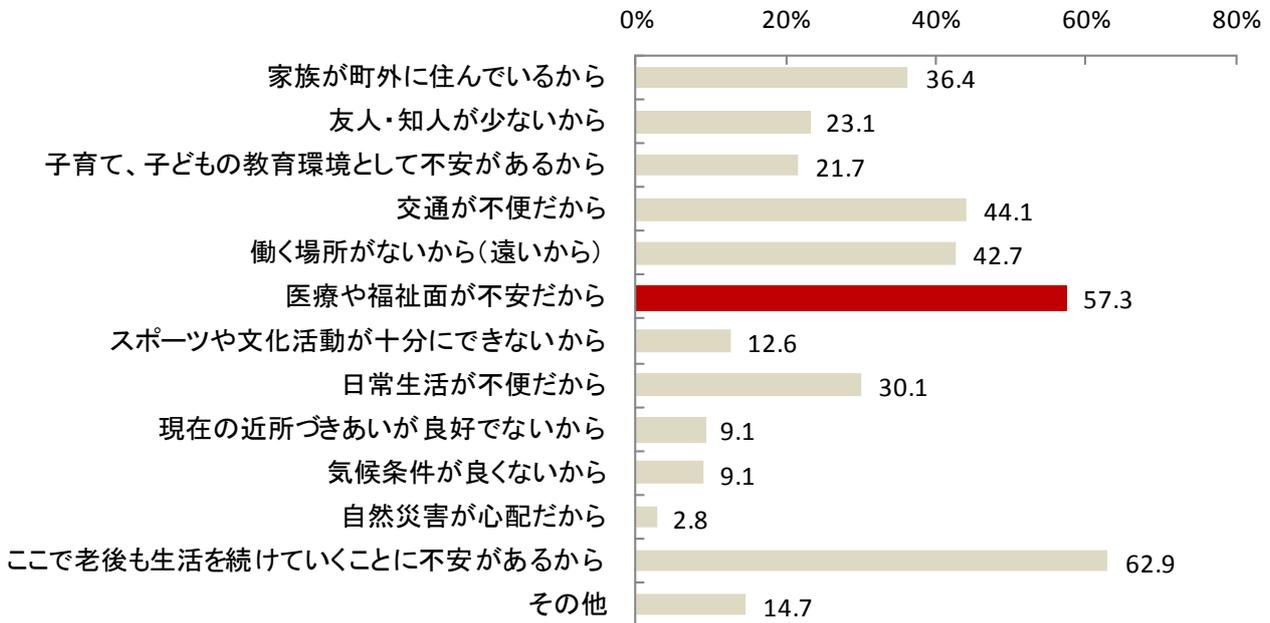
**【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民813人)**



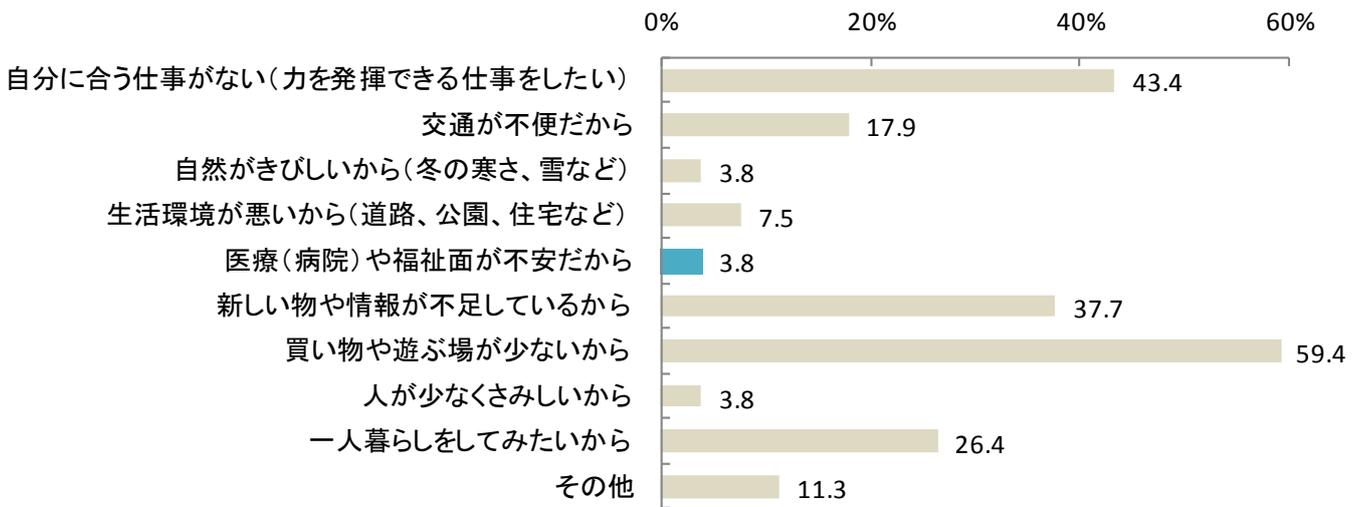
町民 【問4-①】町内に住み続けたい理由(すべて選択/589人)



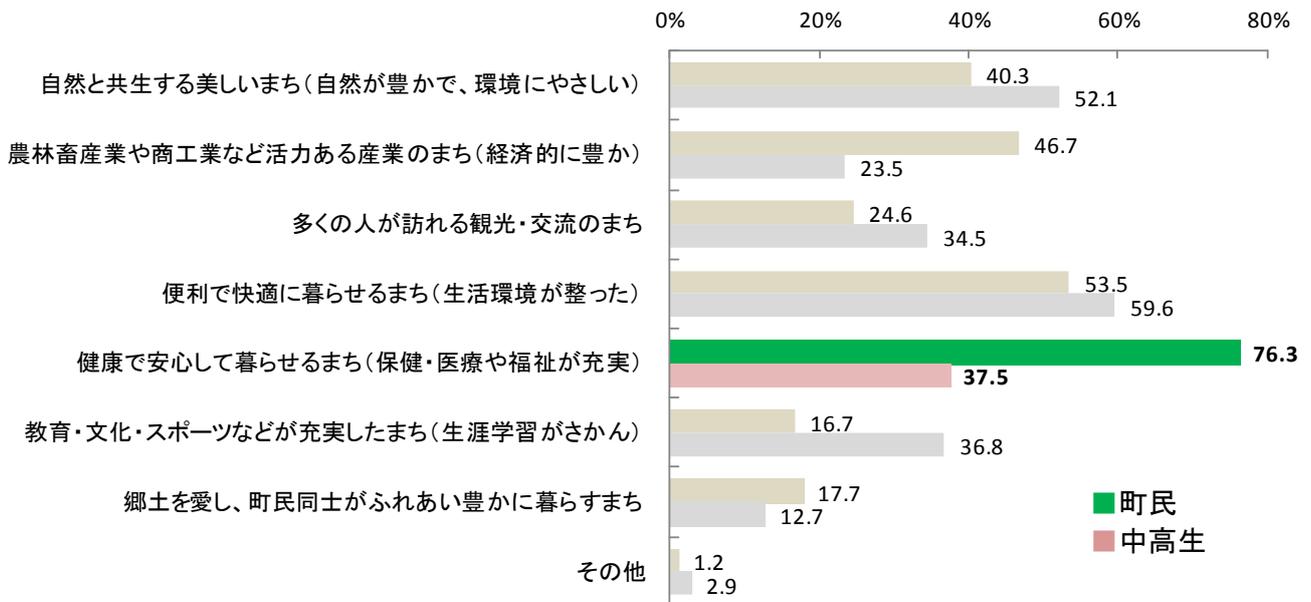
町民 【問4-②】町外に移りたい理由(すべて選択/143人)



中高生 【問3-①】町外に住みたい理由(あてはまるものすべて選択)



【問6】将来の美幌町に望む姿(3つまで選択/上段:町民、下段:中高生)



(2) 現計画の検証

施策	主な取り組み	進捗状況	問題・課題	今後の見通し、方向性
国民健康保険病院の充実	固定医師の確保	インターネットによる医師募集広告の掲載 関係機関への医師招聘活動		常勤医師確保により収益の向上及び安定的な医療の確保
	新たな診療科の検討	腎臓内科、総合診療科の新設	新たな診療科の開設により医療体制の充実、医業収益の増収を図る	常勤医師確保による新たな診療科の開設
	医療ソーシャルワーカー※による相談充実	ソーシャルワーカーによる医療相談 他病院への転院や施設への入所相談		患者の抱えている経済的、心理的、社会的問題の解決、調整の援助などの相談業務の充実
	地域包括ケア※の推進（保健・福祉との連携）	平成 25 年 6 月に地域医療連携室を開設		地域医療連携室を窓口として保健・福祉・介護との連携強化を図る。
	医療機器の充実	平成 22 年度より医療機器更新計画に基づき順次更新		安心・安全な医療提供のため順次更新していく
広域医療体制の充実	病診、病病連携※の推進	平成 25 年 6 月に地域医療連携室の設置		他の医療機関との機能分担を行い、町内唯一の有床病院として救急医療・広域医療体制の維持を図る
	広域医療組織の設立検討	平成 24 年 2 月に自治体病院等広域化連携構想を推進するため北見市・美幌・津別・訓子府・置戸の 1 市 4 町で「北見地域医療提供体制検討委員会」が設立され広域的観点から「北見地域行動計画」が策定された。	診療科目の再編、民間病院・診療所との機能分担及び連携強化の検討・協議	圏域における自治体病院の役割を明確にし、診療科目の再編・機能分担及び連携強化により健全な病院経営を図る
救急医療体制の充実	国保病院における救急医療体制の充実	大学医局からの休日医師派遣	常勤医不足により医師の負担が増加し、救急医療体制の維持が困難となる	常勤医師確保による安定した医療の確保

※医療ソーシャルワーカー：医療分野におけるソーシャルワーカー。治療を進めて行く上で持つ不安や心配ごとを聞き、解決へ向けたアドバイスを行う専門職。

※地域包括ケア：病院を中心に保健・福祉分野との連携により、早期診断、予防活動、退院後のリハビリ、老健・介護施設でのケア、訪問診療などを一体化し、総合的に健康管理を行うサービス。

※病診、病病連携：より良い医療の構築のため、病院と診療所、他の病院が協力して、よりよい医療を提供すること。

(3) 意見、提案

☺ : 小学生   ● : 中学生   ⊗ : 育児ママ   ♪ : 自衛隊   ⌘ : 高齢者   ● : 町民   ○ : 職員

- ♪ 医者がいない。結局北見に行く。リハビリのできる大きな施設もない。足元や身体の不自由な方にやさしい町になってほしい。
- ⊗ 入院できる小児科が町内になく、北見までいかなければならない。実家が遠い人は兄弟がいると通うのが難しい。
- ⊗ 療育病院で診察まで時間がかかる（半年から1年待ち）。訓練はその後になる。時間がかかりすぎる。
- ⊗ 町内の民間病院では、ネットでの予約ができる。国保病院でもできるようにならないか。
- 病院の充実。(60代)
  - 国保病院を中核とした病診連携と、医療・介護・福祉の地域包括ケアシステムを実効性あるものに整えてほしい。(男性・60代)
  - 医療施設は、地元で全て終えられるような、充実した、安心できる医療を受けられる施設がほしい。(女性・50代)
  - 産婦人科(病棟)があると、妊婦さんやこれから結婚される方も助かると思います。(交通費、時間の短縮、上の子への配慮など→大きなお腹で上の子を連れて北見まで行くのは大変。)(男性・40代)
  - 産婦人科が早く欲しい。北見まで行くのが不便。(女性・10~20代)
  - 現在入院できる場所が少ないので、入院時に安心できるだけの医療技術の向上に留意して欲しい。(男性・40代)
  - 産科が無いので、とても不便。特に切迫早産になってしまったので、町内に産科がないのはとても不安。子供も増えないのではないかと。(女性・30代)
  - 産婦人科が美幌にないのは大変不便なので検討してほしい。(男性・30代)
  - 産婦人科の充実。(60代)
  - 産婦人科の病院をつくってほしい。(女性・40代)
  - 病院はあるが、信用できる医師が少ない。(男性・50代)
  - 美幌町にも産婦人科のある病院があると便利。2人目以降となると、上の子を連れて北見まで健診に行くのが大変。臨月になると毎週健診になり、お腹も大きくなっての運転も大変です。(女性・10~20代)
  - 国保病院の先生をどうにかして欲しい。(誤診されて北見日赤に行ったら怒られた。)(女性・30代)
  - 医療環境の充実。(現状個人病院の方が充実している。)国保病院の充実-医師の充実(現状レベル低い)、産婦人科の設置、眼科の充実。現実味はないが、建物ごと厚生連にでも引き受けてもらえば…。(男性・50代)
  - 安心して通える病院が…。国保病院は大きいだけで、あまり…。町民皆が、安心できる医療施設あったら良いな。(女性・10~20代)
  - 医療の充実は、医師の常駐が無理であれば、医大学へ(医師派遣の)誘致を行い、国保病院に配属できるような体制ができないか。(男性・50代)
  - 大きな箱物の病院があっても安心してかかれない。そんな町民の声を聞く事から始めなければ、この町に老後もなんて考えられない。つまり不安…だから町外へと。(女性・50代)

- 国保病院の医療体制の民間との大きな違い。診療時間（始まり、終わり）、事務（会計のスピード）、待ち時間の短縮など。（以前より今年はよくなっていると思いますが…）（男性・60代）
- 国保病院の充実。（女性・40代）
- 今年、国保病院の院長が交代しましたので、病院の対応、信頼、技術力の向上に取り組んで頂きたいと思います。私達が安心して受診出来る医療機関にして頂きたいと思います。（60代）
- 他の市、町に行かなくてもよい医療。国保病院の医者の確保。（60代）
- 国保病院は医者が突然居なくなったりして、結局北見の日赤とかに通院するはめになるし、費用がかさんで（交通費等）とても不便です。常駐してくれる医者の確保をきちんとして欲しい。（女性・50代）
- 国保病院を充実させてほしい。町の最重要機関病院のはずなのに、その役目を果たしていない。（女性・10~20代）
- 国保病院には大きな不満を持っています。今、外科は先生がいないようですが、今までいた先生、特に院長はひどかった。骨折しているのも見逃すし、簡単な手術もうまくできず、日赤に行った人も知っています。また、救急車で、直接日赤に行つてほしい（日赤からそうするよう言われていた）と言つても、決まりなのでまず国保に！と言われて時間がむやみにかかったという人も聞いています。国保に行つたら治るものもよけいに悪くなると町民の間ではよく言われています。前の小児科の先生は、熱を出しても40℃までは病院に来なくていいと、孫がかかった時に私は直接言われました。とにかく国保病院の先生方の技術はもちろん、意識の向上を望みます。こんなことを書く事自体町民としてはずかしいことです。（女性・60代）
- 国保病院の充実化。婦人科の復活。（女性・60代）
- 国保病院は、働いている人は行けない時間帯にやっている病院です。外来に看護師が多すぎます。何の為に、むだな病院を町で経営しているのかわかりません。休日にやむなく受診しても、その足で北見の病院に行ったことが何度もあります。改善してほしいです。老人ホームをたくさん建てて、町外の人を受け入れ、老人の町にしたら病院もいいかも。（女性・40代）
- 国保病院を中心とした医療環境、特に産婦人科等の充実を期待します。（男性・50代）
- 国保病院に子供が小さな時は良く通っていましたが、医師の言動等、また看護師の対応等に不満があり、ずーっと行ったことがありませんでした。最近の良い医師が来ていると聞きましたが、また戻ったとか…。良い医師が定着するようにして欲しい。（女性・60代）
- 国保病院の医師不足は深刻だが、質が悪い。誤診エピソードもよく聞くし、看護師もスキルアップをしている様ではなく、タラタラと働いている感じ。「国保に行つたら殺される」という言葉の実体をちゃんと見るべき。都合の悪いことは「馬の耳に念仏」にならないように。（女性・40代）
- 国保病院は町内唯一の入院施設であり、現状の医師の時間外の負担等、医師数の確保に切迫感を持って取り組んで頂きたいと思います。（女性・50代）
- 国保病院は産婦人科も無いので、有れば良いなと思います。（女性・30代）
- 町で唯一入院できる国保病院に対してあまりいいイメージが無く、質が高い医療とは思えない。設備ではなく、医療者の意識の問題。昔ながらの病院という感じ。（女性・40代）
- 美幌に不足する診療科目（施設）の誘致。全ての病気が取りあえず町内で治療できることで、安心・安全・便利なまちづくりが確立される。
- 産婦人科が無い。最先端医療器具等を導入してみてもどうか
- 子どもを安心して育てることのできる医療環境整備と、乳幼児医療制度の拡充。

- 必要な医療がすぐに受けられる環境づくり。高度医療は大規模な病院などに任せることになると思われるが、それらの医療機関につなぐためにも、治療・診療に当たる、専門科医師や医療技術の充実。
- 現在の国保病院は外来患者が少なく、町民からも「どんなに具合が悪くても国保病院にだけは行きたくない。」と言う声を聞き、町民から信頼されている病院とは思えません。『町立病院が信頼出来ない＝町に不信任感を抱く』ということになり兼ねず、信頼できる医師を確保こそが最大課題と感じます。信頼できる医師が確保できれば、安心して住める町への最大要因ともなり、患者が増えれば大幅な黒字経営となり美幌町の財源として見込めるようにもなります。信頼できる医師を確保するのが困難なのであれば町立運営に拘らず、民間病院へ経営譲渡又は売却も視野に入れる。
- 国保病院の常勤医確保。外科・整形外科・産婦人科医師の確保
- 救急告示医療施設の充実。町民の多くが、町外の病院に通院若しくは入院していることから、受診科の増設により、町内で通院、入院が出来る医療体制の充実。
- 告示病院機能の充実化。産科・整形外科・眼科等の診療科目がないために、町外の医療機関への受診を余儀なくされている現状である。健康で長生きを楽しめるまちとは、根本的に掛け離れており機能等の充実を図り、疾病等を地元病院で完結出来る医療体制の構築が必要不可欠であると考えます。
- 常勤医師不在による外科の休診、産婦人科の休診が町民からの町立病院の不安や不信に繋がっていると思われるので、早急に常勤医師確保が必要だと思われる。